西千葉子ども起業塾 2011 レポート

3 日目

■ 第三土曜市当日 ■

いよいよ第三土曜市の本番当日を迎えました。

第三土曜市のスタートは 11 時 30 分から。二日目に準備が終わらなかった会社は、必死に準備を続けます。一方、準備の終わった会社は、会場のフクロウ広場に向かい、事業開始の準備と、どうやってお客さんを集めるかシミュレーションに余念がありません。

↑第三土曜市の主催団体ピーナッツクラブ西千葉の海保さんに挨拶。

どの会社の子ども達も気合十分です。

会場となるフクロウ広場にも第三土曜市の飾り付けがされて準備万端です。

■ オリジナル T シャツ ■

第三土曜市の会場にはたくさんの人がきます。誰が起業塾の塾生か一目で分かるように、オリジナルの T シャツを用意してみんなで着ました。

■ 事業スタート！■

① 会社名　ベアーズ

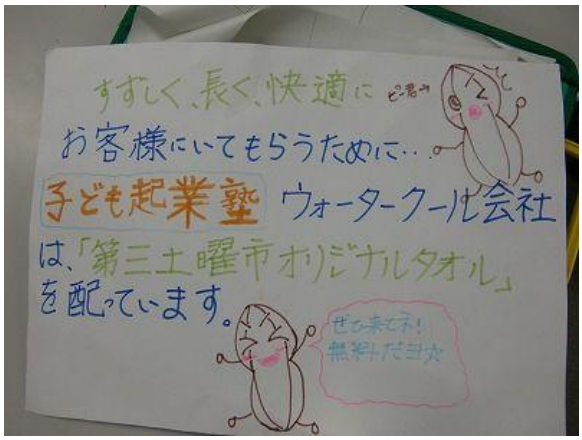
第三土曜市の参加者にスタンプラリーへの協力のお願いをして、台紙にシールを貼ってもらうことになりました。

② 会社名　フラワーリラックス

二日目に社員、バイト総出でつくった飾りを商店街に飾り付けます。ここに、参加者に願い事を書いてもらった短冊を加えていきます。

③ 会社名　ウォータークール

冷やしたタオルには二日目に集めた商店街の広告が書かれていて、もらった人に涼んでもらうと同時に商店街の PR を行いました。



④　会社名　西千葉ファミリー写真館

アミーゴポーズの来場者の写真を撮影し、展示スペースに張り出しました。

各グループともお客さんを集めるために必死に呼び込みをしています。

そんななか、ベアーズのくじ引きの景品に西千葉ファミリー写真館の特別撮影券を入れるという、連携してお客さんを集めるという手に出る会社もありました。

午後になると、昨年同様、熊谷千葉市長が子ども達の激励にやってきました。

子ども達は市長に自分達の会社の事業説明と名刺交換をしました。

■ 事業を清算しよう ■

第三土曜市を終えた子ども達は、事業の清算を行います。事業の結果をまとめて、吉川さんに確認してもらい、結果に応じた報酬をもらいます。そこから銀行からの融資やバイトさんを雇った賃金などを差し引いて、最終結果をまとめました。

こちらの想像以上に利益を出した会社もあり、慌てて高額紙幣（10,000 ベア札）を用意する場面もありました。

うまく利益が出た会社、赤字になってしまった会社と分かれましたが、千葉大学経済人倶楽部「絆」の犬養会長から利益はどうなるのか？赤字はどうなるのか？といったお話をしてもらい、子ども達も今回だけが事業ではないこと、赤字も次回頑張って挽回すれば良いことを学びました。

続いて、一人一人に修了証と記念品（地域通貨ピーナッツ 1000P）が手渡されました。

最後に、関係者から挨拶がありました。吉川さんからは各会社の頑張りへのコメント、起業家を代表してトライワープの虎岩さんからは支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れないでというコメント、藤川先生からは社会とのつながりや貢献といったお話がありました。

■ 最後に ■

子ども達はこの 3 日間で働くこと、地域とのつながりなどたくさんのことを学びました。

また、今回の事業を行うためにたくさんの学生や地域の方々、社会人が携わり、支えてくれていることも学びました。

事後に行ったアンケートでは、「赤字が出て悔しいので来年リベンジしたい！」「仕事は難しかったけれど、仲間や色々な人と触れ合えたことが良かった」といった子どもの声や、「本物の会社の経営を具体的に経験できたのが良かった」「学校では決して教えてくれないしゃかいのしくみを少し理解できたようだ」「子どもと働くことについて話をするきっかけになった」といった保護者の声が見られ、働くことの意味や地域との関わりなど、本事業で目的としていた子ども達のアントレプレナーシップ（起業家精神）の喚起、涵養を果たせたのではないかと思います。